

確定日（令和02 年 03 月 30 日）

事業コード		04030111		政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略							
事業名		秋田県甘肅省文化交流事業－甘肅省博物館秋田文化展－		施策コード	03	施策名	文化の発信力強化と文化による地域の元氣創出							
				指標コード	01	施策目標(指標)名	秋田ならではの文化資源のPRと、文化を通じた交流人口の拡大							
部局名		教育委員会	課室名	生涯学習課文化財保護室		班名	埋蔵文化財		(tel)	5193	担当課長名	武藤祐浩	担当者名	加藤 朋夏
評価対象事業（計画）の内容												事業年度	令和02年度 ～ 令和02年度	
1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 秋田県と甘肅省は平成13年以来、文化交流事業を継続し来年度20年を迎える。その甘肅省で秋田の文化財の実物を見てもらう展示会を初めて開催することで、交流の軌跡と秋田の文化に対して相互理解を深める。また、ユネスコ無形文化遺産である男鹿のナマハゲや世界文化遺産を目指している縄文文化についてPRすることで、交流人口の拡大につなげる。						3．事業目的（どういう状態にしたいのか） 甘肅省博物館で開催する展示会にナマハゲや竿灯等に関する民俗資料、縄文土器や土偶等の考古資料を出展する。この展示会は、第二次文化交流事業の協議書で相互に開催することと位置付けられているものであり、平成25年度に秋田県立美術館で行った甘肅省の文化を紹介する展示会と対をなす、甘肅省との共同事業である。 (重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望								
						4．目的達成のための方法 ①事業の実施主体 県 ②事業の対象者・団体 甘肅省民、秋田県民 ③達成のための手段 秋田県立博物館、秋田県埋蔵文化財センター所蔵資料などの文化財等の貸し出し。資料貸し出しのための秋田－東京の資料輸送及び燻蒸。甘肅省博物館での開展式典及び、展示設営や展示撤収への職員派遣。								
2．住民ニーズの状況 ①ニーズを把握した対象 □ 受益者 ■ 一般県民 (時期： 年 00 月) ②ニーズの把握の方法 ■ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ③ニーズの具体的内容 平成25年度末に秋田県立美術館で開催した甘肅省の文化を紹介する展示会で、見学者にアンケートを実施した。感想等の自由記述欄に、こうした展示会を通じて異文化理解を深めることの重要性を説く声、今後も双方で実物資料の展示会を開催することを希望する声などが複数寄せられた。平成31年2月には甘肅省博物館から、第二次文化交流事業の協議書に基づき秋田の文化を紹介する展示会をぜひとも開催したいとの希望が文書で伝えられ、その対応を求められた。						④比較した代替手段及び選択した手段の有効性 第二次文化交流事業の協議書に基づく共同事業としての展示会であるため、展示品の国内輸送及び関係職員派遣のみの費用負担で、海外において秋田県の文化をPRすることができる。								
◎把握してない場合の理由及び今後の方針														
①理由														
②今後の方針														
5．事業の全体計画及び財源 単位(千円)														
順位	事業内訳			左 の 説 明			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画	
01	秋田県甘肅省文化交流事業－甘肅省博物館秋田文化展－			甘肅省博物館で開催される秋田文化展への資料の出展			6,300	0	0	0	0	0	0	
財源内訳		左 の 説 明					6,300	0	0	0	0	0	0	
国庫補助金							0	0	0	0	0	0	0	
県債							0	0	0	0	0	0	0	
その他							0	0	0	0	0	0	0	
一般財源							6,300	0	0	0	0	0		

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	甘肅省民が秋田の文化や歴史、日中の文化的繋がりについて理解を深めることにより、一層の国際親善の深まりや交流人口の増加が期待できる。
-------------------	---

指標！	指標名								指標の種類
	指標式								○成果指標 ○業績指標
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b			②データ等の出典					
東 北									
全 国									
③把握する時期 ○ 当該年度中 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月									

指標Ⅱ	指標名								指標の種類
	指標式								☐ 成果指標 ☐ 業績指標
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b			②データ等の出典					
	東 北								
	全 国								
③把握する時期 ☐ 当該年度中 月 ☐ 翌年度 月 ☐ 翌々年度 月									

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

甘肅省内で開催する展示会であることや、期待する効果が複数の要因から引き起こされるものであることから、効果の測定は困難である。

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

秋田県、ひいては日本国に対する理解が深まることで、両県省の友好交流が継続され益々発展することや、省民の秋田県に対する興味、関心が高まることで秋田を訪れる甘肅省民が増加することなどの効果が見込まれる。

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

秋田の文化や、秋田ならではの文化資源のPRには、文化財など実物資料の利用が最も効果的である。甘粛省側からの申し出に応じて共同事業として実施するため、部分的な経費負担で海外での展示会を実現することができる好機となっている。

住民ニーズに照らした事業の必要性

県省双方が相互に理解を深める機会の創出が求められている。

事業の県関与の必要性

- ☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ☒ 県でなければ実施できないもの
☐ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

秋田県と甘肅省とで締結している第二次文化交流事業の協議書に基づいているため。

政策評価委員会意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

○重点事業

○その他